

秋田市教育委員会
令和7年7月定例会
(当日配布資料)

【資料目次】

教育長等の報告

- | | |
|------------------------------|-----|
| (1) 令和7年度教育委員会事務の点検・評価について | … 1 |
| (2) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について | … 2 |

教育委員会事務の点検・評価報告書（案）（令和6年度）に対する教育委員からの意見および対応一覧

ページ	施策・事業	意見内容(指摘箇所)	報告書(案)の記載内容	対応内容
26	「まるごと秋田を食べよう給食」の実施 (学校教育課)	100年フードの説明があると良い。	秋田市内の生産者の思いや、農産物が学校給食として提供されるまでの流れを紹介したリーフレットを作成し、家庭への情報提供に努めた。また、秋田の伝統的な調味料「しょつつる」を使用した炒め物や100年フードの「かやき」、その他秋田県産の食材を数多く使用した給食を提供するなどして、秋田の食文化にふれる機会の充実を図った。	次のとおり、100年フードについて欄外に説明を追加する。 秋田市内の生産者の思いや、農産物が学校給食として提供されるまでの流れを紹介したリーフレットを作成し、家庭への情報提供に努めた。また、秋田の伝統的な調味料「しょつつる」を使用した炒め物や <u>100年フード（※1）</u> の「かやき」、その他秋田県産の食材を数多く使用した給食を提供するなどして、秋田の食文化にふれる機会の充実を図った。 【欄外】 ※1 100年フード 文化庁が認定した、地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化。秋田県では、「かやき」の他に「きりたんぼ」「白餅」などが認定されている。
26	学校訪問指導や研修の充実 (学校教育課) (教育研究所)	T T指導の説明があると良い。	学校訪問指導を通して、各教科との関連を図った指導や栄養教諭等の専門性を生かしたT T指導などの効果的な食育の指導のあり方について共通理解を図った。また、教職員研修において、学校給食における栄養管理や食物アレルギー対応等について共通理解を図った。 【令和6年度学校訪問数】 ・11校 【令和6年度研修会受講者】 ・栄養教諭・学校栄養職員研修会：26人 ・学校給食支援員研修会：20人 ・初任者研修：30人	次のとおり、T T指導について欄外に説明を追加する。 学校訪問指導を通して、各教科との関連を図った指導や栄養教諭等の専門性を生かした <u>T T指導（※2）</u> などの効果的な食育の指導のあり方について共通理解を図った。また、教職員研修において、学校給食における栄養管理や食物アレルギー対応等について共通理解を図った。 【欄外】 ※2 T T指導 ティーム・ティーチング指導の略。複数の教員が協力して授業を行う指導方法。
49	地域と連携したビジネス実践の充実 (商業高校)	ユネスコスクールの説明があると良い。	これまでのビジネス実践活動に加え、ユネスコスクールとしてSDG sを意識した活動を取り入れ、持続可能な社会の実現のための商品開発やイベント企画などを行ったことにより、食品ロスや地産地消などの視点から商品コンセプトやターゲティングを考えるなど、より実践的な学習を行った。令和6年度のAK I S H O Pでは、15社の企業に協力いただき、37種類の商品を開発し、約3,600個販売した。 ユネスコスクールとしての活動の情報発信や、ユネスコスクールの理念をもとにした商品開発等を地元企業とともにを行い、地域とともにより良い社会をつくり上げる担い手としての自覚をより強く持つことにつながっている。	次のとおり、ユネスコスクールについて欄外に説明を追加する。 これまでのビジネス実践活動に加え、 <u>ユネスコスクール（※1）</u> としてSDG sを意識した活動を取り入れ、持続可能な社会の実現のための商品開発やイベント企画などを行ったことにより、食品ロスや地産地消などの視点から商品コンセプトやターゲティングを考えるなど、より実践的な学習を行った。令和6年度のAK I S H O Pでは、15社の企業に協力いただき、37種類の商品を開発し、約3,600個販売した。 ユネスコスクールとしての活動の情報発信や、ユネスコスクールの理念をもとにした商品開発等を地元企業とともにを行い、地域とともにより良い社会をつくり上げる担い手としての自覚をより強く持つことにつながっている。 【欄外】 ※1 ユネスコスクール ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校。秋田商業高校は、平成20年よりユネスコスクールに加盟している。
51	スクールカウンセラーの配置 (御所野学院高校)	職員コンサルテーションの件数について、月一回行っている養護教諭とのコンサルテーションをカウントしていないのではないか。 学校の勤務記録には、令和5年度までは「養護教諭との情報交換」と記載していたが、令和6年度から「養護教諭とのコンサルテーション」と記載しているため、件数に入れてはどうか。	スクールカウンセラーによる、生徒に対する相談・助言、保護者には子どもに関する相談を行った。教職員とはコンサルテーションを重ねた。様々な悩みを抱える生徒にとって、専門性を有するスクールカウンセラーによるサポートは、心の健康の維持や回復に大きな効果をもたらしている。相談希望件数が増加傾向にあることは、生徒の援助希求力が向上していると捉えられる。 【令和6年度派遣実績】 ・派遣時数：59時間 ・相談件数：46件（前年度比＋1件） ・職員コンサルテーション：5件（前年度比＋4件）	次のとおり修正する。 【令和6年度派遣実績】 ・派遣時数：59時間 ・相談件数：46件（前年度比＋1件） ・職員コンサルテーション：17件（前年度比＋4件）

学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

秋田市小・中学校適正配置基本方針に基づき、地域ブロック協議会において、学校統合の方向性（学校の組合せ）が決定した地域については、学校統合検討委員会で統合の可否を検討している。

また、検討委員会において、学校統合の合意が得られたところについては、学校統合準備委員会で、統合の実施に向けた具体的な準備作業を行っている。

1 学校統合検討委員会の開催状況等

(1) 第3回八橋小、寺内小学校統合検討委員会【7月16日(水)開催】

ア 主な意見等

- ・寺内小ではすでに単級が発生していることから、統合することにメリットがあり、前向きに検討していきたい。
- ・児童数の減少は緩やかであるため、統合時期については、児童のことを第一に考えて検討していきたい。
- ・これまでの協議では、令和12年度の統合を目途としており、地域としては統合に賛成の意見が大多数を占めている。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・統合時期および使用する校舎については、今回の協議内容を踏まえ、各所属団体において意見集約し、次回以降、引き続き協議する。

2 今後のスケジュール

(1) 地域ブロック協議会

開催日	地域ブロック協議会	地域
7月30日(水)	第8回河辺地域ブロック協議会	河辺
9月以降	第7回南部地域ブロック協議会	南部

(2) 学校統合検討委員会

開催日	学校統合検討委員会	地域
8月18日(月)	第9回旭北小、旭南小学校統合検討委員会	中央
8月28日(木)	第8回浜田小、豊岩小、下浜小学校統合検討委員会	西部
9月以降	第4回八橋小、寺内小学校統合検討委員会	中央
	第7回土崎中、将軍野中学校統合検討委員会	北部
	第7回秋田北中、飯島中学校統合検討委員会	

(3) 学校統合準備委員会

開催日	学校統合準備委員会	地域
9月以降	第4回築山小、中通小学校統合準備委員会	中央
	第5回飯島小、下新城小学校統合準備委員会	北部
	第11回土崎小、土崎南小学校統合準備委員会	
	第6回河辺小、戸島小学校統合準備委員会	河辺

※(1)～(3)の地域協議については、進捗状況により、順次、開催する。

(4) 記念式典

開催日	名称	会場
令和7年11月1日(土)	秋田市立戸島小学校閉校記念式典	戸島小体育館
令和8年2月21日(土)	秋田市立土崎小学校、土崎南小学校 統合記念式典	あきた芸術劇場 ミルハス